

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学位授与方針を策定し、学内外に周知する。	→ 「学位授与方針の策定と周知方法の検討」	C	C			
2. 学位授与基準および修得すべき学習成果を明確化して、学生に周知する。	→ 「学位授与基準および修得すべき学習成果の明確化および周知方法の検討」	C	C			
3. 学生間・教員学生間での双方向的授業の機会を増やすため、少人数教育科目を増やす。	→ 「少人数教育科目の数、シラバスの詳細化、履修登録率・単位取得率」	B	B			
4. 学生の進路や学修の希望に応じて専門教育課程を再編成する。	→ 「新設科目の数、シラバスの詳細化、履修登録率・単位取得率」	B	B			
5. 教育課程の実効性・適切性を定期的に検証する。	→ 「教育課程について学生の満足度調査の実施、カリキュラム検討委員会の開催」	B	B			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針) 学位授与方針のたたき台とすべき原案を学部長室において作成したが、未だ明示には至っていない。この原案は、次期学部執行部に継続検討事項として引き継がれた。 (説明) カリキュラム改革に向けての検討中であったこと、さらにはKG学士力の帰趨が流動的であったことから、学位授与方針の策定作業開始が遅れた。原案は学部長室において作成し、次期学部執行部において早急に検討すべき事項として引き継いだため、早急に策定・明示される予定である。
小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない
	(説明) 2012年度のカリキュラム改革実施に向けての検討が進み、それに伴い、カリキュラムポリシーのたたき台とすべき原案を学部長室において作成したが、明示には至っていない。この原案は、次期学部執行部に継続検討事項として引き継がれた。
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 周知・公表している <input checked="" type="radio"/> 周知・公表していない
	(説明) 学位授与方針および教育課程の編成・実施方針は、学部長室において原案が作成され、次期学部執行部に引き継がれたのみで、大学構成員には周知・公表されていない。継続検討事項として引き継いでおり、次期学部執行部により、早急に明示のための作業に入る予定である。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
	(説明) 拡大カリキュラム委員会を中心に、カリキュラム改革の議論と合わせて、現行カリキュラムの適切性については定期的に検証を行ってきた。学位授与方針については、原案を作成したのみであり、十分な検証は行われていない。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
 必修・選択ごとの開設授業科目数
 系列別卒業必要単位数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

↓

《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○作業は現在進行中と判断されます。学位授与方針策定・公表は、大項目6の基礎となる作業ですので、慎重かつ迅速な展開が望まれます。

【学内委員】

○学位授与の方針の策定と明示は重要な課題であり、改善すべき事項の中にも含めることが望まれます。

○学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の策定・明示が遅れています。小項目6.1.4に記述されている定期的な検証を実施するためにも、早急に策定し明示する必要があります。

○進行中であると認められます。学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の明示、ならびにそれらの周知、公表を早期に実現されることが求められます。

○各目標の着実な進捗と達成に期待します。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.1.1

基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.2

基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.3

基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ ○学位授与方針・教育課程の編成・実施方針の策定・明示については、全学的なペースに則って行われており、2011年度には完了する予定となっている。